

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ジャパンカップが「2025年ロンジンワールドベストレース」を受賞

国際競馬統括機関連盟(I F H A)から『2025年世界のトップ100 G I 競走』が発表され、ジャパン・オータムインターナショナル ロンジン賞ジャパンカップ(レースレーティング126.25)が英チャンピオンSとともに『ロンジンワールドベストレース』を受賞しました。世界のG I 競走のランキングが現行の形式で発表されるようになった2015年以降、日本の競走が第1位となったのは2023年のジャパンカップに続いて2度目のこととなります。なお今回は10か国・37競馬場のG I 競走がリストに名を連ね、日本からは計15競走がランクイン。これはイギリス(20競走)、オーストラリア(19競走)、アメリカ(16競走)に続く国別第4位となっています。

●2025年度ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

I F H Aから『2025年度ロンジンワールドベストレースホースランキング』(単位はポンド)が発表され、英チャンピオンSやジャパンカップなどを勝ったカラダガン(130)がワールドチャンピオンに輝きました。日本調教馬はフォーエバーヤングとマスカレードボールがカーインライジングなどとともに第2位タイ(128)となったのを筆頭に計54頭が掲載。国別頭数では英国と並ぶ第1位タイで、初めて第1位となった2024年に続いて2年連続の首位獲得となります。

●2025年度JPNサラブレッドランキング発表

JRAハンデキャッパーとNARレーティング担当者の協議により決定した『2025年度JPNサラブレッドランキング』(単位はポンド)が発表されました。各部門のトップは、2歳は牡馬がカヴァレリッツォ(116)、牝馬がスターアニス(113)、3歳芝は牡馬がマスカレードボール(128)、牝馬がエンブロイダリー(115)、3歳ダートはナルカミ(117)、4歳以上芝は牡馬がダノンデサイル(125)、牝馬がレガレイラ(117)、4歳以上ダートはフォーエバーヤング(128)となりました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●フィンガーがブルーバードC(船橋)で人気に应运重賞初制覇

ブルーバードC(JpnⅢ、3歳、1月21日、船橋、1,800^千円)は、4番手から差を詰めたフィンガー(戸崎圭太騎手、牡、父ガンランナー)が、先に抜け出した3番人気のカタリテを残り150^千円で捉えて1馬身半差を付け、単勝1.8倍の支持に応えました。2番人気のチャーリーは3馬身遅れの3着、ヘルメスギャングは7着に敗れています。

●全日本新人王争覇戦(高知)は川崎の野畑凌騎手が優勝

1月20日に高知で2レースのポイント制で争われた全日本新人王争覇戦は、5、1着という成績の野畑凌騎手(川崎)が総合優勝。橋本太希騎手(栗東)は4、3着で第3位、長浜鴻緒騎手(美浦)は2、11着で第5位、石神深道騎手(美浦)は6、9着で第9位、柴田裕一郎騎手(栗東)は12、8着で第11位でした。

●東京2歳優駿牝馬(大井)は浦和のアンジュルナ【各地の2歳重賞】

東京2歳優駿牝馬(12月31日、大井、1,600^千円、牝馬)は、逃げた2番人気のアンジュルナ(父ティズザロー)が後続を3馬身引き離し、ローレル賞に続いて牝馬限定重賞を連勝。兵庫デビュー馬優先の園田ジュニアC(12月31日、園田、1,700^千円)は、後方から追いつけた2番人気のゴッドフェンサー(牡、父ルヴァンスレーヴ)が、直線半ばで差し切り勝ちを収めています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●北米首位種牡馬ディストーテッドヒューマーが死亡

2011年の北米首位種牡馬ディストーテッドヒューマー(父フォーティナイナー)が現地1月10日に余生を過ごしていたアメリカ・ケンタッキー州のウィンスターファームで死亡しました。老衰によるもので33歳でした。ディストーテッドヒューマーはアメリカでダート1,400^千円のG 2コモンウェルスBCSとG 2チャーチルダウンズHを含む重賞4勝を挙げて1999年に種牡馬入り。G 1ケンタッキードーバーとG 1プリークネスSの米2冠を制したファニーサイド、G 1BCクラシックとG 1ベルモントSを制したドロッセルマイヤー、G 1トラヴァーズS優勝のフラワーアリーなどを送りました。

●G 1・12勝の豪年度代表馬ヴィアシスティーナが引退

2024/25年の豪年度代表馬に輝いたヴィアシスティーナ(牝8歳、父ファストネットロック)の引退が1月18日に、管理するC.ウオーラー調教師から発表されました。11月の前走G 1豪チャンピオンズS優勝後、彼女本来の活気ある姿が戻っていないことから引退の決断が下されたものです。ヴィアシスティーナはイギリス調教馬だった2023年7月にアイルランドのプリティボリーS(芝2,000^千円)でG 1初制覇。その後、同年12月のセールで270万^千円(当時約5億3000万円)で現オーナーに購買されてオーストラリアに移籍。新天地でも連覇したコックスプレート(芝2,040^千円)を含む11のG 1勝ちを収めました。今後は、イギリスに渡って、2022年の英愛首位種牡馬ドバウィと交配される予定です。